

決断を下したこと
それなくして
今の檜葉はない

まつもと ゆきえい
松本 幸英

檜葉町長

昭和35年(1960)、檜葉町生まれ。
福島県立四倉高等学校卒業。1997年から檜葉町議員を務め、
2006年、町議長に就任。2012年4月、町長選に立候補し、初当選を果たす。
2020年4月、無投票で3選を果たす。

「町民に寄り添って」とよくいわれます。

でも災害時には町民全員に寄り添うのが難しい場合も。

2012年の8月に、一部町民の反対を押し切り、国からの区域見直しに応じました。

当時、町は警戒区域に指定されていましたが、国から住民の帰還を前提とする
避難指示解除準備区域に再編したいという申し入れがあったのです。

何度も町民懇談会を開きました。町民の意見を聴きながら、「見直しにあれば、
除染やインフラ復旧を早期に進めることができる」と粘り強く説得。

「復旧が早まるなら」と受け入れてくれた町民が当初は多かった。しかし途中から
反対派が多数を占めるように。それでも町の復旧復興、未来を考え

「再編に応じるべきだ」そう確信し、決断を下しました。2015年の避難指示解除に
あたって、課題を一つずつクリアし、安全安心を確認し、

プロセスをきちんと踏みながら準備を進めてきたと自負しています。

町長に初当選した2012年4月以来、リーダーとして下したさまざまな決断。

不満や不安、厳しいご意見もたくさん耳にしました。

しかし、区域の再編と避難指示の解除。この決断がなかったら、今の檜葉町はない。
そう確信しています。



町内体育施設「ならはスカイアリーナ」の完成など、
復興を進めてきた